

会 議 録 (概要)

会議の名称	2019年度 第5回 佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議														
開催日時	令和2年2月17日 午前10時00分から11時30分														
場所	佐渡市消防本部 コミュニティルーム														
次 第	1 開会 2 議題 (1)第2次佐渡市将来ビジョン策定の進捗状況 (報告) (2)第2次佐渡市将来ビジョン (素案) の修正 (3)その他 3 閉会														
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開														
出席者	有識者 16名 事務局： <table style="display: inline-table; vertical-align: top; margin-left: 20px;"> <tr> <td>市長</td> <td>三浦 基裕</td> </tr> <tr> <td>企画課 課長</td> <td>猪股 雄司</td> </tr> <tr> <td>課長補佐</td> <td>中川 裕二</td> </tr> <tr> <td>政策推進係 係長</td> <td>安藤 辰也</td> </tr> <tr> <td>主任</td> <td>松本亜沙美</td> </tr> <tr> <td>行革推進係 係長</td> <td>椎 俊介</td> </tr> <tr> <td>主事</td> <td>菊池 勇司</td> </tr> </table>	市長	三浦 基裕	企画課 課長	猪股 雄司	課長補佐	中川 裕二	政策推進係 係長	安藤 辰也	主任	松本亜沙美	行革推進係 係長	椎 俊介	主事	菊池 勇司
市長	三浦 基裕														
企画課 課長	猪股 雄司														
課長補佐	中川 裕二														
政策推進係 係長	安藤 辰也														
主任	松本亜沙美														
行革推進係 係長	椎 俊介														
主事	菊池 勇司														
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和1年度 第5回 佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議 (次第)</li> <li>・ 第2次佐渡市将来ビジョン (素案) ※令和2年2月7日時点</li> <li>・ 第2次佐渡市将来ビジョン新旧一覧※令和2年2月7日時点</li> <li>・ 第2次佐渡市将来ビジョン議会 (全協12月19日) の意見集約</li> <li>・ 第2次佐渡市将来ビジョン議会 (全協1月15日) の意見集約</li> </ul>														
傍聴人の数	1人														
備考															

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
中川企画課長補佐	事前資料確認
三浦市長	<p>（あいさつ）</p> <p>本日、将来ビジョン推進会議は5回目となります。お示しします部分は、これまでの会議でのご意見や12月、1月での議員全員協議会等での指摘事項を含め修正したものを説明します。そのうえで今後、最終的な作業に持ち込むこととなりました。前回と違っているところは、12月議会で将来ビジョンについては議決事項となり、なおかつ、昨年、市内5箇所で見意見交換会を開催した件について10箇所で開催すべきとの意見があり、それも含め年度内3月末完了がスケジュール的に難しくなりました。かなり煮詰めた案まで用意し、年度明け、選挙後にパブリックコメント、再度意見交換会のうえで策定とする方向となることを報告させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>議題(1)第2次佐渡市将来ビジョン策定の進捗状況について、議会全員協議会の指摘を踏まえた修正も含め説明をお願いします。</p>
猪股企画課長	<p>第2次将来ビジョン策定の進捗及び今度の方針、対応について説明します。第2次将来ビジョンの年度内策定は不可能となりました。委員のみなさまには、ご協力いただいたのにこのような結果となり申し訳ありません。お手元の将来ビジョンは意見交換会、議会のご意見、指摘を反映した素案です。議会につきましては、6月と9月定例会において方針・スケジュールをお伝えしました。将来ビジョン本文の内容については、推進会議等で議論した内容や11月の市民意見交換会の内容を反映したうえで、12月19日議会全員協議会にて説明した際、議会からの指摘が多く、改めて1月15日に再度開催することとなりました。また、12月定例会におきましては、議員発議により将来ビジョンが議決案件となりました。これらのことを踏まえ、議会の一定程度の理解を得たものを原案とし、パブリックコメントを実施するとともに、あわせて意見交換会を開催する方針となりました。12月の全員協議会の継続として開催された1月の議員全員協議会においても意見が多かったです。素案の再修正やパブリックコメントの実施期間を考慮すると、2月定例会に上程するのは間に合わず、事実上年度内の策定は困難となりました。今後の方針は、1月に指摘をいただいたものは、2月20日3回目の議員全員協議会で説明することとなっています。将来ビジョンの最終策定作業は、選挙後の次の体制に委ねたいと考えています。内容を再精査し、市民意見交換会、パブリックコメン</p>

座長	<p>ト実施ののち最終策定となることにご理解をいただきたいです。</p> <p>今の進捗状況説明に意見はありますか。1つ目は議決案件になった点、もう1点は5箇所の意見交換会では不足であり、10箇所開催が良いとの意見がありました。よって、年度内の作成は不可能となり、次年度に繰越しとなるがそれでよろしいか。</p>
委員全員	<p>全員承認</p>
座長	<p>続いて、議題(2)第2次佐渡市将来ビジョン（素案）について事務局より説明会をお願いします。</p>
安藤政策推進係長	<p>（資料 第2次佐渡市将来ビジョン新旧一覧）</p> <p>第4回推進会議の質問点について、事務局で審議し修正したものと、2回の議員全員協議会の質疑を受け、再度審議し修正した一覧になります。見直した内容は簡易な修正もあるが、本日は大きな修正箇所を説明します。（基本構想No.10、基本計画No.16. 17. 19. 20. 29. 47. 51. 52 説明）</p>
座長	<p>今の説明でご意見はありますか。</p>
A氏	<p>以前、寺泊・赤泊の両泊について質問したことがあるが、市長からは単純明快に「航路はありません」という言葉で終わっている。両泊は最短で予測できない事態の発生の際に、最も近いということを指摘したかった。航路の有無ではなく、現在の認識で全く想像できない不測の事態が発生した際に連絡船として当該航路が最短距離であることを伝えたかったが、全く話にならなかった。何かが生じたい際のファクターに入れても良いのではないか。</p>
B氏	<p>基本計画 P10(2)③地域力向上住民主体とした支え合いの地域づくりというタイトルがあるが、文脈とつながっておらず、読みづらい。ここに、地域コミュニティなど、地域の住民の助け合いの構築、地域の互助の向上が含まれているということで良いか。</p> <p>基本計画 P25(1)①小学生、中学生を対象にした防災教育の実施に取り組みますと記載されている。行政、学校が考えていることと思うが、防災ピクニックを子どもと親、消防団員で遊び感覚で地域の危険箇所のマップ作成などの教育がないと定着が難しい。当然考えているという認識で良いか。また、③自主防災組織力の向上について、避難所開設など自主防災の役員はせいぜい2～3人程度である。長岡の越路での</p>

<p>座長</p>	<p>意見交換会においても「2～3人しか集まらない」という意見もあった。集まらない人が集まれるように、防災タイムラインを作り、ひとつのものを示し、どう動くべきか市で考えてほしい。</p> <p>基本計画 P47 の自然エネルギーの島構想の実現について、素晴らしいことなので実現してほしいが、佐渡には水力発電の能力があるという方もいる。水力発電が「等」に含まれていると思うが、もう少し文字として記載するかどうか検討していただきたい。</p> <p>3点ほどあったが、1点目は文脈がどうかというご意見。2点目は、自主防災組織を作っても実際、日中動ける人がいないのが現状である。いざという時に最低限必要なものはなにか。また、子どもたちはマップ等を作っているが、登下校の際の安全度合いを重点においた傾向が強いので、それ以外の自然災害等について対応できているのか。3点目は、水力発電に関する潜在的な可能性についての指摘である。</p>
<p>C氏</p>	<p>基本計画 P47～48 の洋上風力発電について記載がある。2月23日アミューズメント佐渡にて講演があるようだが、弾崎沖から先はブリ、マグロなど重要な漁場である。風力発電の浮きものに対して擦れる音や風力発電の振動など懸念の声があり、慎重にやっていただかないと困る。地域及び漁業等の海域の先行利用者との協調が重要となるがあるが、科学的な調査等に基づき魚の移動に障害がないことも含め検証したうえで実行していただきたい。個人的には良い計画とは思っているが、懸念する声がある。</p>
<p>D氏</p>	<p>先ほどの意見に関連して、情報提供として事業者から集落に弾崎で調査する説明があった。</p> <p>基本計画 P9(1)① 2行目「分科会としての」の「の」が不要である。</p> <p>基本計画 P43～44 佐渡は小規模事業者がほとんどである。中小企業に含まれているといえればそれまでであるが、小規模事業者を付け加えていただきたい。「中小企業・小規模事業者」という書き方が一般的である。</p>
<p>E氏</p>	<p>P58(3)インバウンドで最も大事なものは旅行事業者との連携である。例えば、ホテルの確保はじゃらん、楽天、JTB などを利用するし、旅行商品も造成している。</p> <p>P58(3)②交通事業者との連携は、キャリアの中での話であると思うが、一番大事な佐渡汽船が入っていない。</p>
<p>F氏</p>	<p>基本計画 P63～64 建設関係で橋梁の約 30%が早期の修繕が必要、優先</p>

度に応じた補修と記載されている。早期に取り組む必要があるのであれば、早期に取り組む記載にし、特にインフラ対策をお願いしたい。次に5箇所意見交換会の意見で、高校生の移住等人口減少対策について取り上げられていた。基本計画 P83 のアンケート結果で「良い仕事先がない」という意見が多かった。仕事はあるが周知が足りておらず、雇用促進協議会では高校生、保護者へアピールしているが「良い仕事先がない」という市民の考え方を变えるため、学校や保護者への周知が必要なのではないか。そして、求められる資格を取得して佐渡へ帰ってくるための記載が不足しており全体的に弱い。自然減ではなく、転出者が帰ってくるための取り組みについてももう少し記載する必要がある。医療に対する対策は充実しているが、保護者、生徒への周知が不足している。人口減少対策として、移出した若者が帰るための施策が必要である。

また、出生数の減少について、羽茂地区で「婚活を」という意見があった。回答は「やったが効果がなかった」と回答している。佐渡市の生涯未婚率はおおよそ男性が1/3、女性が1/5になると思う。それらの方が生涯未婚の対象となっているのであれば、やはり婚活により出生数を上げる取り組みがあっても良いのではないかと記述するとすれば、基本計画 P13 若者の社会参画の推進に婚活支援があっても良いのではないかと。

子育て支援は充実しているが、共働きの世帯が多いため、もう少し共働き世帯に対する支援がないと子育てによって働き方が制限されるのが現状であるため解消に努めていただきたい。また、老老介護は福祉になると思うが、基本計画 P7 に老老介護を課題としているが記載がない。基本計画 P80 アンケート結果も踏まえ記載してほしい。

最後に、事前に資料を読み込んでくるが、本日配布された資料や5箇所の意見交換会の内容についても事前にいただけるとありがたい。まだ全体的に、冒頭の目指す姿のページは基本構想、基本計画と同じ文書であると思うが、いくつか異なる点がある。特に基本構想 P1 「出産数」は死産も含まれるが、「出生数」ではないのか。気になる点についてメモしてきたので後ほどお渡しする。

A氏

婚活についての話は、行政の立場での働きかけでスタートしても効果がないという意味であったと思う。現状を捉え、人の集まる場所世話を方向で検討しているが、素晴らしい体育館があるが、お金がかかり手続きも難しい。もう少し気楽に人が集まる場所をつくろうと協議している。

B氏

老老会議の問題は、基本計画 P8 「8050 問題」に含まれているという認

	<p>識であるがいかがか。</p> <p>次に、基本計画 P65 財政見通しについて、経常収支比率が記載されていない。会計年度任用職員の人件費もカウントされることもあり、この比率については示していただきたい。記載しない意図があるのか。</p> <p>基本計画 P70 基金残高について、令和 2 年～令和 11 年かなり減るが問題なくやっていけるという記載になっている。何かあった際に対応できないのであれば、もう少し減少幅を少なくするための努力と取組が必要なのではないか。これで十分というのであれば、考えた方を示していただきたい。</p>
G 氏	<p>行政関係の施設は使用料が高い感じがする。数年前に無料と有料を統一する論議があったようだが、もう少し安くできないか。財政負担を考えればコスト負担は当然とは思いますが、高い気がしている。</p> <p>次に男性の育児休暇の取得が少なく、育児だけではなく家事についても男性が一緒になってやる教育や座談会のようなものが少ない。育児休暇については企業の協力を得るという面は難しく、人の確保ができないと仕事に支障をきたすなど悪循環である。</p> <p>最後に、里山保全についても、もっと身近な竹の伐採など、高校生も含めて現状をみてもらうやり方が必要である。働く場がないという意見があるそうだが、農業では羽茂の選果場でおけさ柿の色々な作業行程で募集している。廃園ではなく、協力を願って 3 Kではなく、家庭教育の問題であろうが開拓の余地はあるのではないか。里山について、どこかに記載してほしい。</p>
三浦市長	<p>使用料は統一ではなく、公民館、集会所など平米単価で算出しており、広さによって値段が異なるため不統一だと思われる。平米単価ではない考えた方も必要ではないかと現在検討している。統一のために平米単価で統一したものが、違った受け止め方をされている。</p>
H 氏	<p>基本計画 P28 施策の方針について、「経営の品質」の意味がわからない。農業経営というよりも、「持続可能な農業の実現」ではないか。</p>
B 氏	<p>G 氏の発言であった里山保全は大事なことである。基本計画 P33 に森林環境贈与税、木質バイオマスの記載があるため、こちらに記載してほしい。</p>
I 氏	<p>基本計画 P60 施策の方針に「特定有人国境離島地域社会維持推進交付金」において、島民割引運賃は良いことだと思うが、佐渡航路は国道であり、全国民が同じ料金が良いという思いがある。「市民をはじめと</p>

<p>中川企画課長補佐</p>	<p>した」の市民は他になにが対象となっているのか。</p> <p>新旧対照表に記載があるが、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金は市民が対象であるが、関係人口・交流人口についても島を維持するために大事な要素であり、市と締結している大学生を対象にするなどしている。そういった意味合いもあり、市民のほか大学生にも適用されるということも含まれている。</p>
<p>J氏</p>	<p>言葉がわかりづらい。「持続可能な社会」とは一体何なのか。あちこちにあるが、どこかに言葉の説明がほしい。もう1点、里山に対し「里海」という言葉も先を読むなら入れてどうか。</p> <p>目指す姿は将来像であるが、持続可能な社会について用語の説明もない。佐渡市が目指す姿について説明を入れていただければ分かり易いと思う。</p>
<p>K氏</p>	<p>基本計画 P13(2)②子育て世代として、佐渡市は良いサポートをしているが、基本計画 P80 アンケート結果では認知度が 50%を切っている。基本計画 P13(2)②の「検討します。」は弱い。アンケート結果を踏まえ、もっと強い言い方にしていきたい。</p>
<p>C氏</p>	<p>将来ビジョンは良く出来ているが、年配には見えづらい。例えば基本構想 P3 のイラストが読めない。追加資料も字が小さいため配慮してほしい。</p>
<p>座長</p>	<p>良いものができつつある。議会議決が必要とのことで、お気づきの点は事務局に連絡していただきたい。</p>
<p>三浦市長</p>	<p>新たなご指摘についても踏まえながら、2/20 の議会全員協議会で本日より同じ資料で説明する。そのうえで、ご指摘等は取りまとめてお示ししたい。最も難しいと思う点は、基本構想の下の基本計画と個別計画の記述の線引きが難しい。その点も踏まえて説明しやすい形で取りまとめる。</p>